

目次

刊行のことば 三

第二巻 はしがき 三

一 コンピュータ技術革新と資本主義 関 恒義 七

はじめに——コンピュータ時代の到来

1 臨調型高度情報社会の問題点 一七—— 臨調行革と教育臨調の国づくり／政官財癒着

と異常な不均等発展／資本主義世界の構造的
危機の性格／自主性喪失の加工型・情報型産

業構造／展望のない矛盾激化の臨調反動路線

2 経済と技術の相互関係の歴史 三〇—— 矛盾の激化と生成期社会主義／人間生活の基

本的前提となる労働過程／生産力と生産関係
の矛盾と社会革命／階級社会の発展過程と勞

働の高度化／資本主義から社会主義への移行

過程

3 高度情報社会の民主的改革路線 四〇—— 公共機能と利潤機能の民主的統合／国民本位

のつりあいのとれた発展

二 ME化の経済的特質と労働運動

大木 一 訓 四

はじめに 四

本稿の課題／技術革新の環をなすME化／危機対策としてのME化／ME化による労働等の変化／労働者生活におよぼす影響

1 ME化と機械化 四

労働過程からみたME化の特質／ME体系と自動機械体系の違い

2 ME化と資本蓄積様式の変化 五

ME化による再生産構造の再編／生産・消費の矛盾激化と過剰蓄積

3 労働過程の変化とME「合理化」 五

労働内容と労働組織の変化／ME「合理化」のもとでの変容

4 ME「合理化」と失業・雇用不安 六

雇用への否定的諸影響／ME化の雇用「拡大」効果／ME「合理化」下での失業情勢悪化

5 ME「合理化」の日本の特質 六

ME化急進展の条件／ME化推進の基本要因が国独占のME化政策／労働運動の側から

6 ME化問題と労資の政策 七

の三つの対応／労働運動の直面する課題

三 情報通信産業の成立と新たな展開 井上照幸 七

1 「知識産業」から「情報通信産業」へ 八 マッハルプの「知識産業」／わが国での「情

2 情報通信産業の成立と展開 六
報産業」概念／「情報通信産業」の概念
電気通信と情報処理の融合／情報通信産業の
成長性／「情報の産業化」と国家的支援

3 情報通信産業の新展開 六
電気通信事業法と「コンピュータ裁定」／V
AN事業と「高度サービス」／第二種として
のVAN事業／VAN事業のきびしい現実

4 情報通信産業の進路と諸矛盾 一〇
日米経済摩擦と情報通信／新規参入の問題点
／「産業の情報化」と情報独占

おわりに 一〇

四 産業の情報化とその国際的展開 宮脇孝久 二二

1 電子機械産業の地位と役割 二二
産業上の地位と特質／コンピュータとICの
役割

2 世界の電子機械産業の
成長とその相互関係 二六
生産の伸びと移りかわり／アメリカの貿易メ
カニズム／太平洋の時代と国際分業

3 情報化と産業発展のレベル 三二
長びく不況と産業構造の変化／重化学工業時
代の終わり／産業のシステム化から融合化へ

4 情報システムと産業ネットワーク 三七
産業ネットワークの形成／高度情報通信シス
テムと巨大企業

5 情報財の価格機能とその社会的性格 三一
コミュニケーションの発達とIC／情報財と

としてのICの性格／日米間のICの価格変化／従来の経済財と情報財のちがい

五 コンピュータ革命と企業経営 貫 隆夫 二四二

- 1 企業におけるコンピュータ革命の背景 二四二
 情報処理と労働の相関／人件費の節約／情報処理量の増大への対応／処理時間の短縮化／在庫・設備コストの節約／新製品、新規事業分野の創出

- 2 コンピュータ利用の形態 二四八
 FA/OA/SA/VAN

- 3 コンピュータ利用の影響 二五五
 研究開発の重視／「日本的経営」の修正／中小企業への影響

- 4 連帯のシステムへの移転 二六四
 人間関係の希薄化／現場からのシステム構築

六 経済の計画化とコンピュータ 久保庭 真彰 二七一

- 1 予備的考察 二七一
 コンピュータと経済学の「血縁」関係／コンピュータと経済学の思想的共通性／課題と分析視点

- 2 数量モデルの基本類型 二七四
 クラインの計量モデル／バランス論と産業連関モデル

- 3 統計システム 二七九
 SNA方式とMPS方式／新SNAの国民勘

定体系

4 日本の経済計画とコンピュータ 一八六——日本の経済計画の展開過程／コンピュータの

発展とモデルの巨大化

5 通信ネットワークと経済計画 一九一——「政府の計画」と「国民の計画」／計画策定に

おける政治経済的意思決定

〔現状の研究1〕

ソフトウェア労働者 中野達二 一九五

1 ソフトウェア労働者とは 一九五——ソフトウェア労働者の範囲／ソフト労働の内容、その特徴／ソフト労働者の雇用形態／派遣労働の背景と矛盾／女子プログラマー増大

の意味／ソフト労働者の労働条件の特徴

2 日本のソフトウェア産業の問題点 二〇〇

〔現状の研究2〕

流通システム 木下武男 二二三

1 流通産業における 流通産業と情報ネットワーク化／流通情報ネ

コンピュータ革命 ネットワークの装置

2 流通情報ネットワークの典型事例 二二九——セブナイレブソ／セブナイレブソのコンピュ

ータ・システム／中小企業の流通情報ネット

3 流通産業と国民生活を
めぐる対抗軸

三六
ワーク／「日本型高度情報社会」の構築／会
員制無店舗販売システム
情報化による変化／「消費者」から「生活者」
へ／経済民主主義にとっての情報化

〔現状の研究3〕

国際金融ネットワーク 石倉達義 三七

1 金融ネットワークの展開 三七

金融機関のオンライン化／第二次オンライン
とSWIFT／金融革命と第三次オンライン
／レポート構想とOAビル

2 A銀行にみる国際金融システム 三八

A銀行のシステム構成／金融自由化とシステ
ムの機能／システム化をめぐる金融資本間の
競争

3 金融システムの矛盾と
経済民主主義

三五
銀行労働の変化と国民生活／金融ネットワー
クの矛盾／経済民主主義の実現のために

